

事務事業名		社会体育振興事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	くらしと文化部
総合計画体系	基本政策	4	ふるさとを学び育つ文化のまちづくり	課・室	文化スポーツ振興課
	政策	04	スポーツの振興	係	スポーツ振興係
	施策	01	スポーツ・レクリエーションの振興	内線電話	364
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	2款	総務費	未計上	
	項	1項	総務管理費	実施期間	
	目	17目	スポーツ振興費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	市民	市民がスポーツを身近に感じ、健康で活力ある生活を送ることができる。	
現状・課題	市民のスポーツに対する要望が多様化している。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	スポーツ基本法、中野市スポーツ推進委員規則	
事務事業概要	各種スポーツ教室及び大会の開催並びにスポーツ推進委員の活動支援をすることにより、市民がスポーツに親しむ機会を設ける。		
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量
	各種スポーツ教室及び大会の開催		11回

事務イン 事業プ ット	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	予算額	当初予算		円	4,858,000	10,307,000
補正・流用等		円			—	
合計		円	4,858,000	10,307,000	6,166,000	
決算（見込）額 A			円	4,071,599	10,307,000	—
R2は予算額	財源内訳	国庫支出金	円			
		県支出金	円			
		市債	円			
		その他特定財源	円	44,300	29,000	229,000
	一般財源	円	4,027,299	10,278,000	5,937,000	
正規職員数			人	0.98	0.98	0.92
人件費 B			円	6,305,320	6,313,160	5,926,640
総事業費 A+B			円	10,376,919	16,620,160	12,092,640
市民1人当たりコスト			円	243	391	285

成果指標	アウトカム	方向	平成30年度		令和元年度		令和2年度		
各種大会の参加人数		維持	目標	1,200	人	1,200	人	1,200	人
			成果	1,458	人	1,200	人	—	
			目標						
			成果					—	
成果指標と目標値を設定した理由	中野市スポーツ推進計画において、各種スポーツ大会の充実を施策として掲げているため。								

令和2年度の実施方針	効率的に実施	活動量	減らす	コスト	下げる	成果	維持する
	効率的に事務事業を行うため、一部の事業を団体等育成事業に移行する。						

